

※このシートには手を加えないでください。
正しく計算されなくなります。

傷病手当金試算シート

自動計算

氏名		組合員番号		給料表	
----	--	-------	--	-----	--

標準報酬の月額		円	給与の支給割合	100分の	80	給付額	当試算シートの下部参照
---------	--	---	---------	-------	----	-----	-------------

年金の受給合計額		円	給料の調整額		円
----------	--	---	--------	--	---

→減額後の調整額

給与明細の額(8割の額)をそのまま転記してください。

給料	地域手当	扶養手当	住居手当		

↓チェックを入れてください

- 給料の半減期間はありません。
(療養休暇90日(180日)を超えての療養休暇)または半減期間については算定済みです。
給料表は正しいものを選択しています。

報酬①		減額後の支給額	
種別	本来の支給額		
給料月額			円
地域手当			円
合計	B		円
報酬②		本来の支給額	左の手当に対する期間内の支給割合
種別	金額		
給与減額の給与種目	教職調整額	0 × 0.8 =	0
	扶養手当	0 × 0.8 =	0
	住居手当	0 × 0.8 =	0
		× =	0
		× =	0
合計	C		0 円

↓休職開始月の翌月以前の直近12か月の標準報酬月額を入力してください。

直近の月	標準報酬月額	直近の月	標準報酬月額
年 月		年 月	
年 月		年 月	
年 月		年 月	
年 月		年 月	
年 月		年 月	
年 月		年 月	

全組合員の平均標準報酬月額

380,000

支給額算定調書

報酬日額	支給対象日数	20日の場合		21日の場合		22日の場合		23日の場合	
		D1 (B÷20日)	円	D2 (B÷21日)	円	D3 (B÷22)	円	D4 (B÷23日)	円
報酬①									
報酬②		E1 (C÷22)	円	E2 (C÷22)	円	E3 (C÷22)	円	E4 (C÷22)	円
合計		F1 (D1+E1)	円	F2 (D2+E2)	円	F3 (D3+E3)	円	F4 (D4+E4)	円

(1) 休業給付金の日額の算定

標準報酬月額 () 円 × 1/22 = () 円 (10円未満四捨五入)

標準報酬日額 () 円 × (2 / 3) = () 円 (1円未満四捨五入)①

この試算シートには根拠となる給与明細の写し(休職開始月の翌月分)を添付してください。
(初回に試算した後で給与改定以外の理由により減額となる場合(扶養手当が外れる など)は再度試算し、当該月の明細を添付すること)

(2) 報酬の日額

(F1 0 円) ... ②
(F2 0 円) ... ②'
(F3 0 円) ... ②"
(F4 0 円) ... ②"

(3) 支給対象日数

① > ② となる日(日) ...
① > ②' となる日(日) ...
① > ②" となる日(日) ...
① > ②" となる日(日) ...

(4) 控除額

② × ③ = 円
②' × ③' = 円
②" × ③" = 円
②" × ③" = 円

(5) 支給額の決定

支給対象日数	給付日額①	支給対象日数④	控除額⑤	給付額
20日 の場合	(円 ×	日) -	円 =	円
21日 の場合	(円 ×	日) -	円 =	円
22日 の場合	(円 ×	日) -	円 =	円
23日 の場合	(円 ×	日) -	円 =	円

給付額がある場合、一部支給あり

報酬支給額証明書

組合員氏名		組合員記号番号	
-------	--	---------	--

期 間		令和 年 月 日				令和 年 月 日				令和 年 月 日			
		日から				日から				日から			
上 記 期 間 の 支 給 対 象 日 数		A1				A2				A3			
給 与 支 給 割 合		割				割				割			
報 酬 ①		支 給 実 績				支 給 実 績				支 給 実 績			
種別	本来の支給額												
給料	円	円				円				円			
地域手当	円	円				円				円			
	円	円				円				円			
	円	円				円				円			
合 計		B1 円				B2 円				B3 円			
報 酬 ②		本来の支給額 × 左の手当に対する期間内の支給割合				本来の支給額 × 左の手当に対する期間内の支給割合				本来の支給額 × 左の手当に対する期間内の支給割合			
種別	本来の支給額												
教職調整額	0 円	× = 円				× = 円				× = 円			
扶養手当	0 円	× = 円				× = 円				× = 円			
住居手当	0 円	× = 円				× = 円				× = 円			
	円	× = 円				× = 円				× = 円			
	円	× = 円				× = 円				× = 円			
	円	× = 円				× = 円				× = 円			
合 計		C1 円				C2 円				C3 円			

令和 年 月 日の勤務しなかった期間について、上記の金額の報酬を支払ったことを証明します。

令和 年 月 日 所 属 所 名

所 属 所 長 名

支給額算定調書

報酬日額	報 酬 ①	D1 (B1÷A1)	円	D2 (B2÷A2)	円	D3 (B3÷A3)	円
	報 酬 ②	E1 (C1÷22)	0.00 円	E2 (C2÷22)	円	E3 (C3÷22)	円
	合 計	F1 (D1+E1)	円	F2 (D2+E2)	円	F3 (D3+E3)	円

年金額	0
年金日額	0
①>年金日額となる日	年金控除額
0	0
0	0
0	0

(1) 休業給付金の日額の算定

標準報酬月額 標準報酬日額

() × 1/22 = () 円 (10円未満四捨五入)

標準報酬日額 給付日額

() × 2/3 = () 円 (1円未満四捨五入)…①

(2) 報酬日額

(F1 円) …②

(F2 円) …②'

(F3 円) …②''

(3) 支給対象日数

①>②となる日 () 日…③

①>②'となる日 () 日…③'

①>②''となる日 () 日…③''

計 () 日…④

(4) 控除額

②×③ = 円

②×③' = 円

②×③'' = 円

計 円

※本来の控除額

年金控除額と(4)控除額のうち、いずれか高い額

円

円

円

計 円…⑤

報酬②	
C1	
C2	
C3	

(5) 支給額の決定

給付日額① 支給対象日数④ 控除額⑤ 給付決定額

(円 × 日) - 円 = 円

【記入例①】通常の請求の場合

報酬支給額証明書

【前提】土日が週休日の組合員
平成28年3月（要勤務日数23日（祝日1日含む））

組合員氏名	共済 花子	組合員記号番号	19900000
-------	-------	---------	----------

期間	令和 4 年 3 月 1 日から 31 日まで	令和 年 月 日から 日まで	令和 年 月 日から 日まで
上記期間の支給対象日数	A1 23 日	A2 日	A3 日
給与支給割合	8 割	割	割
報酬①			
種別	支給実績		支給実績
給料	319,900 円	255,920 円	円
地域手当	10,251 円	8,200 円	円
	円	円	円
	円	円	円
合計	B1 264,120 円	B2 円	B3 円
報酬②			
種別	本来の支給額 × 左の手当に対する期間内の支給割合		本来の支給額 × 左の手当に対する期間内の支給割合
教職調整額	円	円	円
扶養手当	21,800 円	21,800 × 0.8 = 17,440 円	円
住居手当	6,000 円	6,000 × 0.8 = 4,800 円	円
	円	円	円
	円	円	円
	円	円	円
合計	C1 22,240 円	C2 円	C3 円

令和 4 年 3 月の勤務しなかった期間について、上記の金額の報酬を支払ったことを証明します。
 令和 4 年 4 月 5 日 所属所名 千葉県立〇〇高等学校 所属所長名 校長 千葉 一郎

確定調書

この報酬日額を『傷病手当金請求書』裏面給付額の算定のうち①報酬との調整の「報酬日額」に入力してください。

報酬日額	報酬①	D1 (B1)	円	D2 (B2)	円	D3 (B3+A3)	円
	報酬②	E1 (C1÷22)	1,010.90 円	E2 (C2÷22)	円	E3 (C3÷22)	円
	合計	F1 (D1+E1)	12,494 円	F2 (D2+E2)	円	F3 (D3+E3)	円

年金額	
年金日額	
①>年金日額となる日	年金控除額
	0
	0
	0

- (1) 休業給付金の日額の算定
標準報酬月額 440,000 円 × 1/22 = 標準報酬日額 20,000 円 (10円未満四捨五入)
標準報酬日額 20,000 円 × 2/3 = 給付日額 13,333 円 (1円未満四捨五入)…①
- (2) 報酬日額
F1 12,494 円 …②
F2 円 …②'
F3 円 …②''
- (3) 支給対象日数
①>②となる日 (23) 日…③
①>②'となる日 () 日…③'
①>②''となる日 () 日…③''
計 (23) 日…④
- (4) 控除額
②×③ = 287,362 円
②×③' = 円
②×③'' = 円

※本来の控除額
年金控除額と(4)控除額のうち、いずれか高い額
287,362 円
円
円

報酬②	
C1	22,240
C2	
C3	

(5) 支給額の決定
給付日額① 13,333 円 × 支給対象日数④ 23 日 - 控除額⑤ 287,362 円 = 給付決定額 19,297 円

『傷病手当金請求書』裏面 給付額の算定のうち③給付額の算定の給付決定額と同額になることを確認してください。

【記入例②】月の途中で支給割合が変わった場合

報酬支給額証明書

【前提】土日が週休日の組合員
平成28年3月（要勤務日数23日（祝日1日含む）
3月15日まで療養休暇（10割支給）
3月16日から休職（8割支給）

組合員氏名	共済 花子	組合員記号番号	19900000
-------	-------	---------	----------

期間	令和 4 年 3 月 1 日から 15 日まで	令和 4 年 3 月 16 日から 31 日まで	令和 年 月 日から 日まで
上記期間の支給対象日数	A1 11 日	A2 12 日	A3 日
給与支給割合	10 割	8 割	割
報酬①			
種別	支給実績		支給実績
給料	320,200 円	153,139 円	133,648 円
地域手当	10,191 円	4,873 円	4,253 円
	円	円	円
	円	円	円
合計	B1 158,012 円	B2 137,901 円	B3 円
報酬②			
種別	本来の支給額 × 左の手当に対する期間内の支給割合		本来の支給額 × 左の手当に対する期間内の支給割合
教職調整額	円	円	円
扶養手当	19,500 円	19,500 × 1.0 = 19,500 円	19,500 × 0.8 = 15,600 円
住居手当	27,000 円	27,000 × 1.0 = 27,000 円	27,000 × 0.8 = 21,600 円
	円	円	円
	円	円	円
	円	円	円
合計	C1 46,500 円	C2 37,200 円	C3 円

令和 4 年 3 月の勤務しなかった期間について、上記の金額の報酬を支払ったことを証明します。
令和 4 年 4 月 5 日 所属所名 千葉県立〇〇高等学校
所属所長名 校長 千葉 一郎

この報酬日額を『傷病手当金請求書』裏面
給付額の算定のうち①報酬との調整の「報酬
日額」に入力してください。

報酬日額	報酬①	D1 (B1÷A1)	14,364.72 円	D2 (B2÷A2)	11,491.75 円	D3 (B3÷A3)	円
	報酬②	E1 (C1÷22)	2,113.63 円	E2 (C2÷22)	1,690.90 円	E3 (C3÷22)	円
	合計	F1 (D1+E1)	16,478 円	F2 (D2+E2)	13,182 円	F3 (D3+E3)	円

年金額	
年金日額	
①>年金日額となる日	年金控除額
	0
	0
	0

報酬②	
C1	46,500
C2	37,200
C3	

(1) 休業給付金の日額の算定

標準報酬月額 標準報酬日額
(440,000) × 1/22 = (20,000) 円 (10円未満四捨五入)

標準報酬日額 給付日額
(20,000) × 2/3 = (13,333) 円 (1円未満四捨五入)…①

(2) 報酬日額

(F1 16,478 円) …②
(F2 13,182 円) …②’
(F3 円) …②”
計 (12) 日…④

(3) 支給対象日数

②>②となる日 (0) 日…③
①>②’となる日 (12) 日…③’
①>②”となる日 () 日…③”

(4) 控除額

②×③ = 0 円
②×③’ = 158,184 円
②×③” = 円

※本来の控除額
年金控除額と(4)控除額のうち、いずれか高い額
158,184 円

(5) 支給額の決定

給付日額① 支給対象日数④ 控除額⑤ 給付決定額
(13,333 円 × 12 日) - 158,184 円 = **1,812 円**

『傷病手当金請求書』裏面 給付額の算定のうち③給付額の算定の給付決定額と同額になることを確認してください。